

幌小っ子だより

幌別小学校教育目標

- すすんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

登別市立幌別小学校

学校だより 第 7 号

令和7年 9月25日

津波避難訓練 ～自分の命は自分で守る～

校長 松田 周一

9月の全校朝会で、防災の日にちなみ、地震・津波避難の話をしました。東日本大震災からは14年、胆振東部地震からは7年が経ちますが、それらの教訓を風化させないことは、我々大人の使命です。「自分の命は自分で守ること。」「学校で学んでいる全てのことが、それ（自分の命を守ることに）繋がること。」という話をしました。また、7月30日の津波警報発令の際の行動についても話をしました。

カムチャツカ半島付近を震源とする地震を要因とした津波警報に、皆様も驚かれたことと存じます。この出来事は私たちに改めて防災意識の重要性を教えてくれました。特に、津波警報発令時に子どもたちが適切に避難行動をとることができたか、ご家庭で話し合う良い機会になったのではないのでしょうか。

子どもたちの安全を守ることは、私たち大人の最も重要な責務です。しかし、いつ、どこで災害が起こるかわからない現代において、大人のそばに常にいることはできません。だからこそ、子どもたち自身が「自分の命は自分で守る」という意識と力を身に付けることが何よりも大切だと考えます。

学校では、避難訓練等も通して、災害時にどう行動すべきかを繰り返し指導しています。しかし、本当に大切なのは、訓練で学んだことを実際の状況で応用できるかです。ご家庭でも、いざという時の避難場所や連絡方法について話し合ったり、地域の危険箇所を確認したりするなど、日頃から防災について備えていただければ幸いです。

これからも、学校とご家庭が連携し、子どもたちの安全を共に守り、育んでいきたいと願っております。



～ご家庭で話し合っていたいただきたいこと～

- 1 非常時の連絡方法（伝言ダイヤル ドアの張り紙等）
- 2 避難場所のルート（避難場所の共有やそのルート その避難場所が駄目な場合の避難場所）
- 3 地震直後の家族の分担（親は、ブレーカーを落とし、大きい非常用持ち出し袋を持って逃げる。子どもは・・・）
- 4 誰かが下敷きになったら助けを求める相手（近所の人 近くを歩いている人 消防団 避難所にいる人 等）
- 5 家を離れるときにすること（ブレーカーを落とす、火元の確認とコンセントを抜く、戸や窓のカギを締める、避難先をドアや外壁に張る）

※9月27日に全市一斉防災避難訓練が開催されます。参加をご一考ください。



前期の通知表について

4月にもお伝えしましたが、今年度より、お子さんの姿や成長の様子を文章記述（所見）でお伝えするのは、3学期末になります。10月にお渡しする際には、「学習のようす」「行動のようす」「特別活動の記録」をお伝えします。お子さんの姿や成長の様子、今後の課題等につきましては、10月末の保護者面談でお伝えします。なお、保護者面談につきましては全家庭対象となります。詳細につきましては、後ほどご連絡いたします。